

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
令和2年度契約監視委員会（第2回）議事録

1. 日 時 令和2年10月12日（月） 14:00～16:15
2. 場 所 農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 本館2階 第2会議室
3. 出席者 田中委員長、小川委員、菊地委員、堀委員
中根委員、青田委員、柏原委員

4. 議 題

(1) 農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
- ② 随意契約、一者応札・応募の点検数量について

(2) 令和元年度第4四半期に実施した契約案件の点検

- ① 競争性のない随意契約（29件）（令和2年1月～3月）
- ② 一者応札・応募案件（239件）（令和2年1月～3月）

(3) その他

5. 議事概要

上記議題について事務局からの説明後、点検が行われた。主な内容は以下の通りであった。

(1) 農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
・特になしの旨報告した。

(2) 令和元年度第4四半期に実施した契約案件の点検

① 競争性のない随意契約

- ・利益排除となっていることの確認を利益排除率の比較によって行っているが、算定方法は価格での比較となっていてその方が確認もしやすいので、今後同様の事案があれば端的に価格で比較できる資料を提出することとの意見があった。
- ・特別な経緯のある案件については、後から経緯が確認できるように詳細な記録を残しておくべきとの意見があった。
- ・随意契約区分表の類型区分の適用は、同じ区分を適用する場合であっても経緯が異なるのであれば、委員会提出資料で確認できるよう整理することとの意見があった。
- ・類型区分の3は役務契約を想定していないため、適用するのであれば規程等の改正を検討すべきとの意見があった。

② 一者応札・応募案件

- ・一者応札・一者応募に関して入札方法、不参加者へのアンケート調査、予定価格の積算などに関し点検が行われた。
- ・契約相手方に再就職の役員等が在籍する場合には、不適切な接触等による情報漏洩等がないことを確認し、記録に残しておくべきとの意見があった。

以 上